



八期オンライン日記第80号(12月号) 2023年12月1~12月31日

https://youtu.be/1sNYU_ihbFM?si=Jh0x0qRS9yVjtAkl

『アジアン★鹿児島』が4年振りにここ鹿児島に帰って来ました。



アジアの国と鹿児島の青年たちが一堂に会して音楽・芸術を通し、国際性をはぐくみ、市民の国際交流意識を高める目的で2006年に始まりました。

正式名称は『かごしまアジア青少年芸術祭』今年で第16回目を迎えます。

この4年間はコロナ禍の為にオンライン等で開催して来ましたが、今年は久しぶりの通常開催(生ステージ)となりました。

快晴に恵まれた11月25日(土)、ここ鹿児島市の「宝山ホール」には日本(大竜小学校)を始め、アジアからは、中国長沙市の(長郡バイリンガルスクール)の皆さん他、9か国からの若い仲間たちが集いました。

会場ではそれぞれの国の伝統舞踊やその国独自の楽器の演奏などを披露しました。

当日を待ちわびていた鹿児島市民や出場するそれぞれの国の応援団など、1600人の観客にとって今日は大満足の晩秋の一日となりました。この動画で雰囲気味わって頂ければ幸いです。

このコメントは観客として動画制作しました大石ケイジより 2023

https://youtu.be/1sNYU_ihbFM?si=Jh0x0qRS9yVjtAkl



https://youtu.be/1sNYU_ihbFM?si=JhOxOqRS9yVjtAkl

○凄いですね



これほど国際色豊かなレベルの高いイベントを開催し、観ることができるとは素晴らしい限りです
アジア諸国を知るとともに、アジア諸国に鹿児島を知らせることもなるイベントですね
雰囲気十分に堪能しました。 西山 和宏

○大石さん



第16回 アジアン！鹿児島 音楽祭 素晴らしい出し物、見、聞かせてもらいました。

中国 長沙市とは 大石さん 長い関係を 持っておられるようですね！

私も ほとんど国へ ビジネスで、あるいは 旅行で 行ったことがあり、非常に 興味深く 見聞きました。
こんな 国際交流が 鹿児島で 16年間も 長きにわたり、催しがあったとは 初めて知りました。

素晴らしい事です。

長く、続けていただきたいものです。

また、加治木市にある、ベトナムの人たちを 大勢 雇用されている 加治木産業さんの協力も 素晴らしいことだと思
いました。

ありがとうございました。 木場 祥雄

○木場さん、西山さん！



早々にお返事、ありがとうございます。

月末、『オンライン日記』と仕上げが重なってパソコンの前で焦っていました。

その分「アジアン鹿児島」動画作成のイメージ作りが上手いきかえって簡単に、いい仕上がりになりました。

頭の中で寝かせた方が作るのも簡単なんだ！と又ひとつ進歩した気がしています。

今週、あと一つと10日には、二つの大学の留学生40名程を引率して、宮崎、ヒムカの国1日「バスツアー」です。

10枚ほどのA4 資料を書き上げました。教えることで、わが勉強も進みます。ゼミの先生のようなものです。

日本の古代史をバスの中で2か国語(中国人ギャルに通訳を手伝わせますが)で説明します。

嘘をついても誰も気づかない…いい加減な先生です。

自分の喋りはスマホで撮れないので動画でお見せ出来ないのが残念です。

その他楽しい旅の YouTube 動画を月の中頃にはアップできるかと思います。

『アジアン鹿児島』動画は、ぼくのフェイスブックにも載せてあります。 大石ケイジ

○松本清張と池田大作氏の対談

12月5日 西山レポ



2023年11月に亡くなった創価学会名誉会長の池田大作(享年95)と、社会派推理小説の泰斗・松本清張が、『文藝春秋』(1968年2月号)で対談していた。当時、清張58歳、池田40歳。前年の衆議院選挙で公明党が25議席を獲得し、創価学会に対する世間の目が厳しくなってきた頃だった。池田が幼少の思い出や入信の経緯、そして政界進出の真意まで語り尽くした"伝説の対談"を、特別に再掲載する。 西山

「戦争と貧困はなくせるか」

松本 清張 作家 池田 大作

2023年11月に亡くなった創価学会名誉会長の池田大作(享年95)と、社会派推理小説の泰斗・

松本清張が、『文藝春秋』(1968年2月号)で対談していた。当時、清張 58 歳、池田 40 歳。前年の衆議院選挙で公明党が 25 議席を獲得し、創価学会に対する世間の目が厳しくなってきた頃だった。池田が幼少の思い出や入信の経緯、そして政界進出の真意まで語り尽くした”伝説の対談”を、特別に再掲載する。



2023/12/05

2023年11月に亡くなった創価学会名誉会長の池田大作(享年95)と、社会派推理小説の泰斗・松本清張が、『文藝春秋』(1968年2月号)で対談していた。当時、清張58歳、池田40歳。前年の衆議院選挙で公明党が25議席を獲得し、創価学会に対する世間の目が厳しくなってきた頃だった。池田が幼少の思い出や入信の経緯、そして政界進出の真意まで語り尽くした”伝説の対談”を、特別に再掲載する。



松本 お忙しいでしょうね。

池田 ええ、今日は1人で抜けだしてきました。わたしは体が弱いものですから、まわりの人が心配して、できるだけ自由な時間を作るようにしてくれるのですが、どうしても……。それに性格的に、のんびりしているのは申しわけないような気がして、つい仕事をやってしまうんです。(笑)
だいたい、半年くらい前から日程が決ってしまいます。

松本 健康でなきゃつとまりませんね。あなたの『若き日の日記』を見ますと、そのころ、胸が悪かったようで？

池田 ええ、生れ落ちてから体が弱くて何度か死にかけました。昭和25年ごろがいちばんひどくて、体重も十三貫そこそまで落ちました。医者にみてもらっても、あと2、3年しかもたないんじゃないか、といわれたり……。その延長です、いまは、気力でもっているようなものです。

松本 いちばん大変なときは、昭和25年ごろだったようですね。戸田(城聖)さんの下で『冒険少年』という雑誌を出し、あなたが懸命に働いたが、不幸にして会社が潰れた。そこで戸田さんの傘下集った人々の中には戸田さんを見限って散ってゆく人もある。胸が悪いあなただけが残って孤軍奮闘ということになる(注1)。
あなたが戸田さんと接触したきっかけはどういうことですか。

『文藝春秋』昭和43年2月号

(注1)「先生(戸田)も私も、1日1日が、悪戦苦闘の連続だ。先生の事業、日増しに苦境に入るを、明らかに感じて来る。……。戸田先生の後継は、私しかない。死んではならぬ。斃(たお)れてはならぬ。……。唯々、深固(じんこ)幽遠なる、大哲理に、感涙あるのみ。……。同志の、退職してゆく姿に、胸が痛む」(池田大作『若き日の日記』昭和25年7月の項より抜粋)

池田 それは小学校時代の友だちの一家が、戦前からの創価学会の会員でしてね。わたしも戦後の混乱期でもあり、青年として、いろんなことを考え煩悶(はんもん)していた。生命とはいったい何かとか、『善の研究』やらなにやら、本だけは手あたり次第読みました。それで、その友だ

ちに誘われて、3 人くらいで、蒲田の座談会に行き、戸田先生にいろいろ質問したのです。ほんとうの人生観とはどういうものか、ほんとうの愛国心とはなにか、神道に対してはどう見るのか、生命の本質はなにか、などいろいろ聞きました。

それに対して戸田会長は、なんのためらいもなく、気どりもなく、思ったままを話してくれました。それを聞いて、とにかく勉強してみようと入信したわけです。19 歳のときでした。宗教に入るなんてことは考えていなかったから、相当長い期間にわたって心の中に抵抗があった。しかし、とにかく勉強し、実践してみよう、という気持でした。ですから、わたしの入信はこれという特別の決意や望みをもったわけではなく、いたって平凡です。

池田 あまり勉強らしい勉強じゃなかったかもしれませんが、信仰を自分のものにしたかったし、いろんなほかのものと比較検討もしたかったし、一生懸命やったことは事実です。もう一つ申し上げますと、家の方もたいへんでした。わたしの家は没落企業のノリ製造業だったのです。

松本 大森(東京)ですね。

池田 そうです。これは因果な商売でしてね。寒いときでも朝早く暗いうちから起きて働かなきゃならない。えらい仕事の家に生れた、と思いましたね。わたしは五男で兄貴 4 人は全部兵隊にとられました。長兄はビルマで戦死した。子供がみんないくら成長して、楽になりかかったときに出征ですからね。息子 4 人が次々と出征していくときの父母の淋しそうな顔を覚えています。おもてでは「軍国の母」といわれてましたがね。かげでは非常に淋しそうでした。深刻な生活問題もあるだろうし、せっかくここまで育ててきた息子を戦争にとられるという父母の悲しみ……そのときの印象は、生涯忘れられない。

松本 そのときはいくつでした？

池田 小学校 6 年生のころでしたから、十一、二歳だったと思います。そのころわたしは病気でしたが、兄が 4 人兵隊にとられたので、わたしが総領の立場になりました。

この時です。戦争は絶対にいけない。それから貧乏もいけない。もう一つ病弱もいけない。それは人間を悲惨に、不幸にするものだ、ということが、頭に焼きついた。戦後、戸田会長に会ったときも、この人は戦争に反対して 2 年間も、牢に入っていた、この人のいうことならば、わたしは信じてついていってもまちがいはない、と思ったのです。

生涯の師がほしかった

池田 ここで、かねてからわたしはいくつか松本さんにおたずねしたい、と思っていることがあるのです。松本さんの『半生の記』を一昨年の秋ごろと思いますが、発売と同時にすぐ買ひまして、夜中の 3 時ごろから朝方までかかって、一気に読みました。淡々たる文章ににじみでた松本さんの性格に出会い、久しぶりに感銘を深くした本です。

読みながら松本さんも長い人生において、やはり人生の危機というものがあつたのではないか。そのときそれを支えてきたものは、なんであつたか、わたしはそこがもう少し知りたかった。

松本清張氏 ◦文藝春秋

松本 わたしには別に宗教もないし、友人仲間もない。ひとりです。だから、卑俗のない方をすれば、人に負けたくない、という気持でしょうね。人には非常に滑稽に見えるかもしれないが、やっぱりある程度の自負心がないといけませんね。

自分の目から見て、あまり尊敬できないような人がわたしの上にいる、その人たちがなんとなくわたしを蔑視的に見ている、ということに対して、ある不合理なものを感じる。差別に対する反撥といってもいい。この場合こっちの心がまえには 2 つあるんですね。



池田 2 つというと.....

松本 1 つは同じ立場の、まあ同病相憐れむというか、そういうグループに入って抵抗する。もう一つは、そのような仲間ですら自分の気持ちがとけこめない。これは孤独感というものでしょうか。自分ひとりだけで戦わなければならないということです。

わたしはあの本にも書いたように、だいたい友だちというものがないんです。小学校卒ですから、学校仲間の友人がない。よく大学を出た人が、「あいつは高校時代の友だちだ」「中学の先輩だ」とか話しているのを聞くと、羨(うらや)ましいですね。学生時代がないので、いまだに仲間づき合いを知らないのです。

池田 わたしも兄貴が兵隊に行ってしまったし、親は失業同然になるしで、なんとか人間として強く生きぬいていきたいと願っておりました。そして、生涯の師匠がほしかった。戸田会長は仏法のこと以外にも、天文学、化学、漢文、法律、政治学など、あらゆることをわたしに教えてくれた、というより、叩きこんでくれました。ですから、わたしは師から教わったことをそのまま墨守(ぼくしゅ)するのでなくして、それをいかに現代に生かし実践していくか、というのが、わたしの仕事だと思っています。

松本 師匠をもちたい、という気持はよくわかりますね。わたしは一人息子でもあり、友だちもいなかったから、もしそういう人に出会っていたら、その人のために生死をともしするぐらいのきずな、
、
、を持ったと思うな。残念ながらそういう人がなかったんです。強がりをするときもあるけれど、誰かに頼りたい、という気持は非常にありますね。

池田 よくわかります。

松本 わたしは学歴がなくてもかまわないけれども、いちばん残念なのは系統的な学問をしてないということです。独学でやると、好きな学科だけをやる。嫌いな科目は投げ出すわけです。偏食ですね。学校だと嫌いな学問でもやらざるをえない。それで知識が体系的となり、基礎的なものを得る。独学はどうしても片チンバ(ママ)になる。私には基礎的な学問がないという残念さ。それがものを書いているときに、よく出てくるわけですね。

池田 そうですね。でも、大学を出ても、ほとんど忘れてしまう人が多いんじゃないですか。(笑)

松本 16 のときから社会に出て、おやじを助けて働いたんです。学生時代がないからスポーツが全然ダメです。

池田 よくわかりました。ところで、松本さんの小説は、庶民の知恵というか、庶民の心をつかんでいる。いいかえれば、庶民の史観というものをつらぬき通している。そこにベスト・セラーになる秘密があり、松本文学の急所がある、とわたしは見ているんですが.....

松本 自分の書いたものはよくわからないんですが、はじめからそういう意識があってそれに沿って書いているわけじゃない。書いているうちに、そういうふうになってくる。体質とでもいうものではないかな。

池田 わたしたちも、松本さんと方法はちがいますが、庶民のために戦っております。松本さんも『日本の黒い霧』で、政治のからくり、不正を大いに暴露されましたが、これは民衆のために大変よかった、と喜んでおります。

わたしたちはこんどは実地に黒い霧を追及して、民衆の手に政治をとり返したい、と戦っております。ですけれども、あれだけ黒い霧を叩いても、その効果が選挙に十分結びつかない、という1つの矛盾を感じますね。わたしは庶民というものは実に賢いものである、と考えているのです。大衆は衆愚である、といわれますが、庶民をぬきにした政治、民族というものはありえない。時代はもはや一億総評論家時代に入ったと思います。

松本 それはそうです。

池田 庶民の知恵とか、心とか、行動とかを、もっとも尊ばなければならない、と思います。よく政治家や評論家、学者などというエリートたちは内心民衆をバカにしているけれども、逆にその人たちが庶民からバカにされていることを知らない。

下手をすると、一庶民の方が総理大臣よりも、よっぽど賢明な発想をすることがあります。庶民を上から見おろしちゃいけない。庶民と連帯意識を持つ。庶民のための社会であり、日本である。庶民のための世界だ。そういう大きな波を作らなきゃいけないと思うのです。

松本 まったくその通りだと思う。しかし、政治家や役人などは、なかなかそのように考えてはくれないですね。

池田 庶民の擁護のために働き、庶民のために戦う、ということが、民主主義の根本の行き方ではないでしょうか。そうならなければ、どこまで行っても大多数の庶民の幸福はない、とわたしは思います。

18 世紀英国が手本です

松本 そうですね。そこでおたずねするんですが、これは国民の、創価学会なり、公明党なり、池田大作会長なりに対する単純で大きな質問です。まず、宗教団体が政治にのりだしていくという疑問ですね。創価学会を母体に政治結社の公明党がある。したがって、公明党は創価学会と同じくあくまで日蓮の教えを……。

池田 根底にしている。

1967 年の衆議院選挙で躍進した公明党 ◯時事通信社

松本 それを根底にして現代に生かそうとしている。「王仏冥合(みょうごう)」ですね。つまり、日

蓮聖人の教えを現代の政治に完全に一致させるということですか。

…この後、少し対談をカットします。理由は長くなるので…読みたい方には、PDF を添付します。大石



ここから掲載しますが、その後残して終わります。それもPDF版を添付します。 大石

松本 創価学会の立場は、公明党を応援するというかたちですか。

池田 そうです。ですから、わたし自身は選挙にでておりません。今後出るつもりはありません

ん。それがなによりの証拠です。

松本 しかし、それは池田さんの外部向けの公式発言のような気がする。公明党の人たちは、結局のところ、池田会長の指示なり意図なりに従って活動していると思う。

池田 いや、そうであれば、実力者といえるが、みんなまわりが偉い人ばかりなので、反対に皆さん方にかかえられているのが実相ですよ。(笑)ただ、学会の会長として、党の創始者として 1つの目標のための原論はもっております。しかし、国会の法案の審議とか技術とか、そういったことは国会に行っていないわたしにわかるはずがない。それらの活動は一切党の機関で運営されている。

松本 そういう細かい技術的なことは組織の当事者にまかせておいていい。ただ、大綱はすべてあなたが握っている。会長の意図で公明党の議員が働く。たとえば議員の行動が会長の考えに反した場合、やっぱりお叱りをうけると思うんですよ。しかし宗教活動は、あくまでも精神活動でしょう。

池田 草創期においては、いずれの世界であっても同じではないでしょうか。わたしが願望している事は、各方面で活躍できる人物を作りたい。その人材をつくるために、すなわち人間革命の原理が宗教であるわけだ。

松本 創価学会の理念を想像すると、世の中を具体的に浄化するには、精神的な宗教活動だけでは限界がある。現秩序の根底には法律があり、既成道徳がある。これは宗教活動でもどうにもならない。これは政治手段によらなければならない.....

池田 そうです。それが王仏冥合になるわけです。

松本 それで創価学会は手段的に公明党という政治団体を持った.....

池田 当然です。宗教のための宗教、信仰のための信仰では観念であり、遊戯になってしまう。

それは必ず、社会のため、政治のため、教育のため、という活動がなければ、本来の宗教の使命ではない。

土壌がよくなっておれば、草木は繁茂する。土壌が悪ければ、草木は繁茂しない。

それでわたしが願っていることは、あらゆる分野に活躍していく人物をつくりたい、ということです。そこに宗教の必要性がある。その中から政治に適した人物、教育、文化に適した人物がでてきて、各々が社会に最も貢献できる分野、方向に進む。それぞれがそれぞれの分野で社会のため、世界平和のために戦う。こういう方法なんです。

公明党は保守か革新か

松本 少し現実的な問題になりますが、これから公明党はさらに伸びて有力政党になる可能性がある。与党絶対過半数という現在の勢力率が破られるときがくる。

池田 そうなるとうれしい。松本さんは推理作家だからあたるだろう。(笑)

松本 そうすると、公明党がキャスティング・ボートを握る.....

池田 なりたいもんですね。

『この後、続きますけど、掲載はここまで.....あとはPDF版をどうぞ！！』

編集部 大石





2023年11月に亡くなった創価学会名誉会長の池田大作(享年95)と、社会派推理小説の泰斗・松本清張が、『文藝春秋』(1968年2月号)で対談していた。当時、清張58歳、池田40歳。前年の衆議院選挙で公明党が25議席を獲得し、創価学会に対する世間の目が厳しくなってきた頃だった。池田が幼少の思い出や入信の経緯、そして政界進出の真意まで語り尽くした”伝説の対談”を、特別に再掲載する。 **情報提供は西山和宏さんでした。**

○12月8日 クマトコメント 大変に面白いことが起こりました

詳しくは拙ブログとコメント欄を読んでもらえればわかりますが、室積光さんという方が私のブログを読んで、コメントをしてくれました。

["https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201908170000/"](https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/201908170000/)

このブログのエッセイ「花瀬望比公園」は、大石くん主宰の「八期通信」にも私が投稿したものです。



その室積さんが、草野大悟とも縁のある人であり、私も驚きました。

コメント欄にあるようにこれから更に交流が深まりそうです。

隈元

コメントの応答を紹介します。

Re:終戦記念日に寄せて(その三)「花瀬望比公園」(08/17)

コメント

室積光さん

「北辰斜めにさすところ」脚本とその原作の「記念試合」を書いた室積です。

他人様のブログを拝読してこれほど涙したことはありません。

また何という奇縁でしょうか。あの映画に合唱で参加して下さった方がフィリピンで戦死された方のご遺族とは。

「花瀬望比公演」のシーンを書いたのは、主人公のモデルにした元軍医で鹿児島島の「のぼり病院」の院長でいらした昇勇夫先生に、「ぜひ行ってらっしゃい」

と紹介されて行ったのがきっかけです。あの「母と子の像」のことを昇先生は、

「お母さんも女の子も素足ですね。きっと貧しいのでしょう」

と言っておられました。

旧制高校生といえは将来国家予算を組むような要職につくエリートです。大局を見据える立場にいてもおかしくない人が銅像を見てそんなに細かいところを観察しておられたことに感動しました。

私など、昇先生のご指摘がなければ気づかなかったでしょう。

あの「母と子の像」にもブログ内で触れておられることにさらに感動した次第です。

現在私は東京の家を引き払い、故郷の山口県光市に在住しております。

徳山にもおられたとのこと、さらにさらに縁を感じております。(2023.12.05 14:44:35)

返事を書く

室積光さんへ クマタツより (隈元)

晴天の霹靂とは正にこういうことを言うのでしょうか。

「北辰斜めにさすところ」の原作と脚本を書かれた有名な方が私の拙いブログに目を留めていただきコメントまでいただくとは思いませんでした。

wikipediaなどで室積さまの事もいろいろ知ることができました。

お顔もテレビで拝見したことがありました。

「翔ぶが如く」の語り手の草野大悟は高校時代同じクラスでしたが、残念ながら早世してしまいました。

それでも同期生の間ではいつも話が出ます。

拙文の中にも書いていますが、人の縁というのは、何処でつながっているか本当にわからないものですね。KW先輩の叔父さんと私の父が銀行の同僚であったり、私自身もそのKWさんと同じ銀行にいて、大学も同じでコーラスも一緒ということもこのブログにあるエッセイを書かなければ知り得ないことでした。

私は1940年1月生まれでもうすぐ84歳になりますが、90歳に近いKWさん共々週一回の男声合唱を楽しんでいます。来年の4月28日には全国から楠声会の会員が集まって創立70周年記念演奏会を開催します。コロナ禍までは3年に一回の演奏会でしたが、今回は6年ぶりの開催となります。「北辰斜め」も歌います。

私は1978年から1981年まで4年間徳山に勤務しましたが、仕事が安全用品の製造・販売の会社でしたので当時の新日鉄光製鉄所を始め周南工業地帯には大変な世話になりました。その後、地元鹿児島に帰って親会社の直系販売会社をつくり、70歳まで勤務していました。

室積 光さまにおかれましては、益々のご活躍をなされるように祈念しています。ありがとうございました。徳山に行く機会でもあればお会いしたいものです。(2023.12.05 18:06:39)

クマタツ 1847 さんへ 室積光より

またまた奇縁に驚いています。わたしは「翔ぶが如く」出演の後、草野大吾さんと同じ事務所「六月劇場」に所属しておりました。草野さんが亡くなったときにもおりました。

お気づきかと思いますが、「北辰斜にさすところ」で緒形直人が演ずる主人公が尊敬する先輩の名前は「草野正吾」です。草野大悟さんへの思いを込めて名付けました。

それと私の父は新日本製鉄光製鉄所に勤務しておりました。父は宮崎県日向市生まれ宮崎中学の出身で、戦前に八幡製鉄に入り、昭和29年に光製鉄所が出来るときに転勤となりました。ですから兄は戸畑生まれで、家族の中で私だけ光市生まれになります。

来年の創立七十周年記念演奏会にはぜひ伺いたいと思っています。

クマタツ 1847 様にメールアドレスをお知らせしたいのですが、ここに書くと他の人にも見られるのでしょうか？

個人的にご連絡させていただきたいのですが、どうすればいいでしょうか？(2023.12.08 00:39:49)

12月10日 「大喜利」おハ`カキャラで`半世紀 西山和宏

昇太さんが司会に決まったときはハッとしました

僕はもう、かれこれ54年間、『笑点』をやっています。



先日、来年3月に卒業することを発表してから多くの方に「驚いた」と言ってもらいましたが、司会者だって5人も見送っているんですよ。

初代の立川談志さんから前田武彦さん、三波伸介さん、五代目三遊亭圓楽さんに桂歌丸さん……みんな死んでしまいました。「おくりびと」なんてあだ名がついてね、3月までに現司会の春風亭昇太を送ってやろうと思ってるんです。

彼はものすごく嫌がって、「僕、まだまだ元気ですから」なんて言ってるけど、座布団をくれないときには「いつ？ いつ？」って脅かしたりして。卒業までもう時間がないから（笑）。林家 木久扇 落語家

昇太さんが司会に決まったときはハッとしました 僕はもう、かれこれ 54 年間、『笑点』をやっています。先日、来年 3 月に卒業することを発表してから多くの方に「驚いた」と言ってもらいましたが、司会者だって 5 人も見送っているんですよ。初代の立川談志さんから前田武彦さん、三波伸介さん、五代目三遊亭圓楽さんに桂歌丸さん……みんな死んでしまいました。



「おくりびと」なんてあだ名がついてね、3 月までに現司会の春 風亭昇太を送ってやろうと思ってるんです。彼はものすごく嫌がって、「僕、まだまだ元気ですから」なんて言ってるけど、座布団をくれないときには「いつ？ いつ？」って脅かしたりして。卒業までもう時間がないから（笑）。これだけ長くやっていると、視聴者の方に「いつも面白おかしなことばかり言っている黄色い人」というイメージが染みついてしまっただけね。出演し始めたばかりの頃は注目されるのが嬉しくて、僕は演芸界のスターになったんだと思っていました。でも、54 年もの間「面白い人」でいるのは大変 なんですよ。

人間ですから、本名の「豊田洋」のときもある。家族もいるし、自分の生活もあるなかで、寄席や 番組収録、街中でお客さんやファンの方とお会いすると、「いつも面白いわね」なんて言ってもらえる。嬉しい半面、だんだんと「うわあ、これは大変なことになったぞ」と思うようになりました。

先日 86 歳になったのですが、この年齢でレギュラー番組を持っている人っていないんです。90 歳の黒柳徹子さんはいまだお元気に司会をされていますけど、僕のように、この歳で目の前のお客さんを笑わせることに取り組んでいる人間は、世界中探してもいないと思います。本当はギネスブックに載ってもいいんじゃないかと思っているんですけどね（笑）。

メンバーとは食事に行かない 昭和 41 年に始まり、半世紀以上も続く長寿番組になったのは、大喜利という「言葉の球投げ」で引っ張ってきたからだと思います。面白い言葉の球投げをするためには、おたがいに緊張感を保っていないといけません。だから、メンバーたちはふだん、一緒に食事に行ったりはしない。

収録が終われば、はい、解散。“楽屋ドロボー”の（三遊亭）小遊三さんが帰り道に自動販売機の下に手を入れ、小銭を探しているのか、「ちびっこのどじまん」出身の山田たかおくんがいまもカラオケで歌っているのか、全然知らない（笑）。

仲良くなりたくないのではなく、落語は一人芸ですから、立ち入ってはいけないという意識をみんな持っているのだと思います。相手が会わない間に何をしているのか、本番で探り探りやっていくわけです。『笑点』を立ち上げた談志さんの時代はもっと厳しくて、おたがい商売敵なわけですから「こういう場合はこうしたほうがいい」なんて教えませんでしたよ。

僕が加入したのはそんな時代。放送開始から 3 年経っていて、メンバーはみんな、すっかりキャラクターが確立していました。落語色を前面に出そうと、おなじみの長屋の住人になぞらえ、司会者が大家さん、（三遊亭）小円遊さんがキザな若旦那で、「僕のお誕生日は小豆じゃあないの」。

ダイヤモンドの混ぜご飯」なんてやってましたでしょう。「軽井沢のばあやはどうしているかしら」とかね。林家こん平さんは「田舎者の権助」で、歌丸さんが「小言幸兵衛」……。僕は、地元で愛される商店街に出店したスーパーマーケットみたいなもので、特徴がない。そうしたら、前座の頃からかわいがってくださった談志さんが僕に言うわけですよ。

「お前は与太郎を やってみな。発想がちょっと変わってて面白いから」。落語協会は古典落語をやっている人が多くて、（古今亭）志ん朝さんなんて言うまでもないです けど、談志さんも、僕と一緒に前座で働いていた（柳家）小三治もみんな本当にうまい。そばで見 ていた僕は、とてもじゃないけれどこの中で頭角を現すのは無理だな、と思いました。

一方、爆笑 落語を得意とする噺家はかなり限られていて、それならおバカなキャラのほうが得なんじゃないかと、今日まで談志さんの言葉を守ってきました。アメリカの大喜利で「星の王子様」と愛された圓楽さんの博識ぶり、こん平さんお決まりの「チャラーン」、みんな芸を 持っています。与太郎の僕はどうすればいいのだろう。僕なりに考えました。

小さな頃から、正義の味方が悪を やっつけるお話が好きでした。時代劇のチャンバラ、なかでも「鞍馬天狗」の嵐寛寿郎がお気に入りだった。

「鞍馬天狗」というなれば“和製スーパーマン”みたいなもので、視聴者の中にも僕と同じくらい好きな人がけっこういるんじゃないかと思ってね。声色が得意ですから、「杉作」（「鞍馬天狗」に登場する少年）と頭につけて大喜利の答えを続け ればウケるんじゃないかと試したら、大当たり。

「杉作、日本の夜明けは近い」は大流行し、ある 企業の CM にも使われ、賞まで取って。いまでもいろいろな人に知ってもらっているフレーズですが、実は「鞍馬天狗」の小説中には出てこないんです。アタシの創作のセリフだから（笑）。

じゃあ次は（片岡）千恵蔵の遠山の金さん「おう、この桜吹雪のイレズミが!」、（市川）右太衛門 の旗本退屈男の早乙女主水之介「この額の三日月傷をなんと見る」……。多くの人の中に浸透し ている決め台詞を掘り起こし、使わせてもらおうと。そうしているうちに落語でも、僕の演目「昭和 芸能史」ができたんです。もちろんすべて声色を使います。

歌丸さんにはよく、「木久ちゃんは死人で食べてる」なんて言 われましたけど（笑）、立ち位置がまったく定まらなかった頃を思えば、よくここまでやって来られたと思います。大喜利の回答に歌を入れ出したのも僕。昭和 53 年、当時のテレビ局は羽振りがよくてね。

サン フランシスコに行って、「笑点 亜米利加寄席」をやることになりました。会場には日本語を勉強中 の現地の人も多いから、言葉で笑いを取るよりも、ジャズなんて入れたらウケるんじゃないかと思 いました。

それで「セントルイス・ブルース」に、「いやんばか〜ん」って、当時、よくクラブの女の子たちが言 っていたせりふを当てはめてみたらハマっちゃった。CD まで出すことになったのは嬉しい誤算で したけど（笑）。



笑点に出始めて八方塞がりだった頃の癖で、どういうカードを出せば周りに勝てるか、ということ はいつも考えています。僕は高校を卒業後に勤めた森永乳業を 4 カ月で退社し、『かっぱ天国』で知られる漫画家の清水崑先生に弟子入りしたんです。

2 年くらいして、『漫画サンデー』に作品が載り、プロの漫画家になりました。アシスタントをしながら、ひとりブツブツ声色をやっていたら先生に勧められ、早々に 落語家に転身してしまいましたが、当時のことから、『笑点』でも大人より子どもの視聴 者を意識しています。家庭では、子どもが観れば大人も観るんです。

だから、お茶の間のちびっこ たちに向けてカッパの恰好をしたり、宇宙人になって「ポヨヨヨ〜ン」とやったり。他のメンバーはそんな変なことしないですよ（笑）。

でも、談志さんにはよく「立ったり座ったりするんじゃない」と◆◆られました。落語家は言葉の球投げの面白さを磨け、と。だからなのか、インテリっぽい答えをするとよく座布団をくれました。ブラックユーモアとか、シュールな笑いが好きでね。司会を降りたのも、そのことがあったかな あ。だんだん初代の『笑点』メンバーと考え方が合わなくなっていったんです。

大喜利のなかで、「俺は親父の死に目に会えるんだ」「どうして?」「俺が親父を殺したんだ」なんて答えを喜ぶわけ でしょう。すると、日曜日の夕方のお茶の間にはふさわしくないんじゃないかと言うメンバーもいて……。

笑点は“笑いのご本尊” 談志さんは 3 年半ほど務めたあと選挙に出て、当時とても人気のあったタレントの前田武彦さんの司会になりました。マエタケさんはラジオの構成作家でもあったから、答えを拾うのがうまくて ね。

「さっきの、またやってね」なんて指示をくれたりもしました。でも、『夜のヒットスタジオ』やら『巨泉×前武 ゲバゲバ 90 分!』やらで本当に忙しくて、1 年で三波伸介さんに交代した。三波さんは長かった。12 年だったかな。「てんぷくトリオ」という 3 人組でお笑いをやっていたが、生粋のコメディアン。「もっとこうすると絵的に面白いよ」と、よく芸人目線のアドバイスをくれました。

器用で、引き出しもたくさん持っていた。浅草の女剣劇の一座で斬られ役を長くやっていたり、歌舞伎にも精通していましたね。ある時、『笑点』のかくし芸大会で勸進帳をやることになり、日舞 の先生が指導してくれたんですけれども、もともと歌舞伎の演目だから立ち居振る舞いがどうもわからない。

みんなでああでもないこうでもないと困っていたとき、弁慶はこう、富樫はこう、と全 部教えてくれたのが三波さんでした。声色もいろいろできる人だったから、僕が時代劇の声色をやると、すぐにその声色で返してくれました。だから、三波さんが司会者で僕はすいぶん得をしたんです（笑）。

あの頃は今とちがい、家じゅうで 1 つのテレビを観ていた時代。『笑点』の全盛期でした。“笑い のご本尊” みたいに捉えてもらっていた。昭和 48 年の 10 月には、視聴率 40.5 パーセントを記録 しました。後にも先にも、そんな数字はありません。

『笑点』に出ているということの重みが今とは 全然ちがう。とにかく出ているだけでスターで、秋になると、知らない人から干し柿が送られてくる。

ぶどうは 来るわ、栗は来るわ、ファンの方々がせっせと送ってくれたんです。だから、こちらもせっせとサインした本やらカレンダーやらお返しして。視聴者と直接繋がっていました。とにかく出ているだけでスターで、秋になると、知らない人から干し柿が送られてくる。

ぶどうは 来るわ、栗は来るわ、ファンの方々がせっせと送ってくれたんです。だから、こちらもせっせとサインした本やらカレンダーやらお返しして。視聴者と直接繋がっていました。田中角栄がラーメン屋を、その関係に目を付けましてねえ（笑）。

僕は戦争を経験しているので、小さい頃から飢えがす ぐそばにありました。それで工業高校の食品科に進んだのですが、その経験もあり、食べ物や商 売もしようとしてラーメン屋を出すことにしたんです。高校時代の友人はみんな食品関係の会社に就 職していますから、同窓会で集まれば一丁上がり。日清の小麦粉やら明治のバターやらローマイ ヤのハムやら、材料の仕入れはあっという間でした。

ノリと勢いで横山やすしさんと「全国ラーメン党」を結成したら、あれよあれよとラーメンプームが 巻き起こっちゃった。そこからどんどんチェーン店を増やしていきました。最盛期には、次期オリンピックの開催地（当時）だったスペインのバルセロナにまで進出したん です。数年で潰れちゃいましたけど（笑）。

スペインには「シエスタ」という昼寝の習慣があるんですよね。ラーメン屋はお昼どきが一番儲 かるのにみんな家で寝てるから、お正月の朝みたいに目の前の通りから誰もいなくなっちゃう。水 も硬水でだめだったなあ。麺がゆだらな。浄水器を入れたけど、赤字はかさんでいくばかりで ……。

それに、ラーメンを食べるのに、向こうの人はワインを飲むんです。だから、食事にとにかく時間 がかかる。日本でお客さんが 10 分、15 分でパッと引き上げていくのと対照的に、スペインの人々 は当たり前前に 2、3 時間過ごしていきますから本当に回転率が悪くて、大赤字でしたよ。

そうそう、ラーメン党結成当初、勢いに乗って中華の本場・北京に進出しようとしたんです。日中 国交正常化を実現させた田中角栄元首相に橋渡しをお願いしようという話になったけれど、やすしさんも僕も、もちろんツテなんてありません。

番号を調べて電話をかけ続け、40 日目にやっと「2、3 分なら」と面会のお許しが出ました。当日、緊張しながら応接室へ入るも、「チミ！ どうして私がラーメン屋開店の手伝いなんだ！」と ❖❖られてしまって。でも、ラーメン党の“黨員”が全国に 1 万人おられますと伝えたら、「そういうことは早く言いなさい！ 物事は数字でしょう」なんてすぐさま中国大使館をはじめとする関係各所に 電話して、あっという間に進出の足掛かりを作ってくださいました。

その後、8 回も北京へ視察に行くうちに、小麦の調達の高さや物価の違いから実現はかなり 困難だとわかってきました。でも、元首相に橋渡しをお願いした以上、「やめます」とは言いつら い。どうしようか……と頭を悩ませていたら、天安門事件が起こったんです。ラーメンどころではない、と出店の話は白紙に戻りました。本番中に眠る司会者 そんなこんなで、『笑点』が全盛の時代に、舞台裏ではいろんな仕事を面白がってやっていました。

失敗談はすべて寄席や公演で使えるから、しっかり元を取りながらね（笑）。「日中友好はラー メンの割り箸から。割れば 2 本（日本）折ればペキン（北京）」なんて挑んだ中国進出は頓挫した けれど、これが本当のテンヤモン事件って（笑）。

ラーメン党結成直後、三波伸介さんが亡くなりました。週に 5 本も自分の番組を持っていたから、過労だったと思います。次に司会になった五代目圓楽さんは、とにかく不器用な人でね。ディレクターと打ち合わせをしているときは、「ああ、そう。わかった、任せといて」と返事はいいんだけど、本番になると寝ちゃうのよ。というのも、健康に気を使っているいろいろな薬を飲んでいてね。栄養剤に風邪薬にと、それぞれ 1 日 3 回に分けるのも面倒だからって手のひらに山盛りにして一気に飲んじゃうんです。

だからすぐ眠くなる。静かになったと思うと、カメラが回っていても寝てるんですから（笑）。で、いったんカメラを止めて、起こして水を飲ませ、また続きが始まる。でも、答えに対して合いの手を全然入れてくれない。眠いから（笑）。

「はい、（三遊亭）好楽さん」「はい、小遊三さん」ってどんどん当てていっちゃう。その代わりに、答えが面白いと 1 人でいつまでも笑っていました。そんなおかしさや不器用さ、面倒くさがりなところが面白くて、とにかく喜ばせたくなくなってしまふ。



だから僕たちも、圓楽さんに気に入られようと大喜利をやっていました。古典落語の人ですから、答えに当時の言い回しを入れるとウケました。

「おいら江戸っ子だい」なんて言えば、「おいらなんて懐かしいねえ。木久ちゃんに 1 枚やってよ」とかね。当に忘れちゃうのか面倒くさかったのか、よく 2 問目で「ということで、今週はここで……」とやるから、みんな「圓楽さん、まだあと 1 問ありますよ！」って。

すると、「ああ、そうかい。早く言いなさいよ」とか言ってましたねえ。パッと感情が変わる人でもあったから、緊張感は常にありました。僕たち全員に伝えたかったの でしょうが、好楽さんの答えが気に入らないと、「何年やってんだ。喜劇映画やお笑いの番組を見てないからそんなつまんねえことを言う。

全国に映ってるんだぞ」って、本番中に師匠から弟子への小言が始まっちゃう。もちろん編集で切ってはいますけどね。

“ガイコツいじり” 誕生 そんな圓楽さんが脳梗塞で倒れ、僕らメンバーが毎週交代で司会をしていた時期もありました。僕の回は、座布団の基準が全然わからないと“好評”だったみたい（笑）。後任の歌丸さんは反対に細やかで、正義感が強かった。雑誌や新聞の投書に「最近の『笑点』はつまらなくなりました」「下品な表現がありました」とあると怒るんですよ。

「そんなによく観てるなら、そのあとに司会の俺がフォローしているのも観ていたんじゃないか。言いつばなしにはしてないだろう」って。教育番組じゃないんだ、とよく言っていました。攻撃に対してはまっすぐに怒る人だった。それだけ番組を愛していたんでしょう。

六代目圓楽さんがあるとき、政治的な回答ばかりする時期がありました。青山学院大卒で賢いし頭はシャープなんだけれども、演芸としてはまずいとなった。そこで歌丸さんが、「俺の悪口を言えよ」と仕掛けたんです。そうして生まれたのが“ガイコツいじり”。「死んだガイコツがまだしゃべってる」なんて言われてもね、楽屋では「俺は商売だと思ってるから怒らない」って。それである 2 人のキャッチボールがお決まりになりました。

歌丸さんは口癖のように「司会者を言葉で攻めて、返されてキャッチボールするんだ」と言って いましたけど、たしかにみんなで競っているようでいて、チームでボールを投げ合っている感覚が ありました。僕に対しては、「木久ちゃんね、言葉のゲームなんだから、歌はどうかねえ」なんて言ってま した。僕は枕の挨拶から「いやんばか〜ん」ってやっていたから不満があったのかもしれない

。「あ あ、そうですね」って聞き流して、結局、歌はやめませんでした（笑）。あの人はおせんべいが好きだ ったから、僕が人形町で塩せんべいなんか買ってきて渡すと、「ああ、悪いね」ってお返しに横浜のおせんべ いをくれるんです。それに、時代劇好きという共通 点もあって、あの分厚い VHS でいろいろ録画していたみ たい。チャンバラの話になると商売は離 れて、高倉健の佐々木小次郎はどうの、ってずっと喋っていました。亡くなられたあと、ご遺族か ら段ボール 7 箱分の時代劇の VHS が届きましたよ。

「なんであいつが」 でね、次の司会が春風亭昇太さんに決まったときには、僕はハッとしたんです。僕に来る かなんて、ちょっとだけ思っていたのもありましたし。なんたって最年長出演者ですからね。そうでなく ても、好楽さんも小遊三さんももう 30 年以上やってるんです。順番になるものではないけれど、一気に飛ん だから、「なんであいつが」と（笑）。でも、歌丸さんが引退するときに、「『笑点』は若返ったほうがいい んだよ」と言ったんです。そう いうものか、と。スタッフは気を使って私に、「回答者側にしてもらえないと、 『笑点』は笑いが取れ ないので」なんて言うてくれましたけど、しばらくは面白くなかったなあ。

世の中では老後の資金に 2000 万円必要だと言われてっていると聞き、昇太さんには「老後の備え に 2000 万円 ちょうだいよ」と言い続けていますけど、そんなわけで絶対にもらわなければ辞めら れないね。メンバーたち は「もうとっくに老後じゃねえか」なんて言うんですけどね。

とはいえ、司会って大変なんですよ。この前も若手大喜利で司会をやりましたけど、回答者として並んでいる のと司会者席からずらっと並んだ回答者を見ているのでは景色が全然ちがいま す。奥の 3 人くらいは見えないし。何より、司会者は面白いことを言えませんから。そういえば、三 波さんはその辺がうまくて、「ばかや ろう。おめえより俺のほうがいい答えが出せるのよ。な〜ん ちゃって」とか言って、自分がたくさん映るよう に芝居してましたよ（笑）。

がん闘病も 2 カ月で復帰(2014 年) ©時事通信社 大喜利の答えを思いつかないことももちろんありますよ。 実は『笑点』、何度も同じ問題が出てい るんです。視聴者の方が忘れるだけで、僕らは噺家ですから、「ああ、 あのと時答えたな」とすぐに思い出す。

それで今回はどうしようと考えたりもするし、僕なんかは手持ちの「カッパ」「宇宙人」の カードからどれを 出そうなんて考えたり。それでも思いつかないときは手を挙げたくないんですけどね。カメラさんが引きの画 を撮ろうと するから、しょうがなくにぎやかして挙げる……「僕を指さないで。好楽さんにして」と念じなが ら（笑）。

「いつも面白い人」は誰かに「芸というものは、次の世代にバトンタッチしなくてははいけません。座布団も芸 も新しい人にバトン タッチいたします」生放送の『24 時間テレビ』（日本テレビ）で『笑点』の卒業を発表 したとき、僕はこう言いました。

古いと言われてしまうかもしれないけれど、僕たちは噺家という“商売”を誇りに思っています。ひな壇に芸 人たちがずらっと並び、それぞれが楽屋話をしゃべる番組とはちょっと違う。高座に上がれば、音楽もない、相 手役もないなか、しゃべりだけで 1 時間もたせなければいけない。テレビはタダで観られますから、そう

いう厳しさが無いね。いまテレビでわいわいやっている人たちは、寄席に出て 20 分もちますか、と言いたくなることもある。

それに、いくつまで芸ができますかって。噺家は面白くさえあれば、70 になっても 80 になっても高座に上がれるんです。だから、噺家を引退するわけではありません。寄席は続いていくし、しゃべる場所はこれからもしっかりと確保しています。お客さんを笑わせる技術を磨くことをやめるつもりは一切ありません。ただ、『笑点』の「いつも面白い人」は誰かに譲りたかった。

「『いつも面白い人』は誰かに譲りたかった」と語る © 文藝春秋 『笑点』は僕にとって、出演を乗り越し、「生活」でした。自分の一部になっていて、さながら臓器のようなもの。それを動かし続けることに少し疲れてしまいました。談志さんの予言 最近は『笑点』も変わってきてね。昔は毎週、爆笑が生まれたところで番組が閉じました。木久 ちゃんがくだらないことを言ってお客さんがドーンと沸いて、「ということで笑点、このへんでお開き。また来週！」と締まった。



今はそれがなくなってしまうと、なんだかさみしいんです。司会者がゲストに「どうでしたか？」なんて振ったり、女性アナウンサーの方の声でメの言葉が入ったり。そうやってどんどん、言葉のやり取りだけで「さすが」と思わせる噺家の技が光る場面が減り、“バラ エティ番組化”することのないようにと心配しています。談志さんが言っていたんです。

「これからは、面白いことを言う素人たちが売れてくるから、そうなる前に俺たち、商売がんばろうな。あいつらは修業も何もしてないんだから」。それがずっと頭に残ってしまっていてね。気づけばもう、そんな時代がとっくに来ていたんですね。

春風亭一之輔さん、桂宮治さんが入って来て、『笑点』にも新しい風が吹いています。一之輔さんはああやって、ぬけぬけと「昔からいました」みたいな顔して冷たい答えで笑いを取っているし、宮治さんは間断なくしゃべって惹きつけます、面白くても面白くなくてもね（笑）。そうやって『笑点』がまた、うんと面白くなっていてくれたらいいですね。

ただ、一つ言いたい。昇太さん、私の卒業のときには 2000 万円ください。それからもう一つ。僕の後任という座布団は、こう見えてけっこう重いと思いますよ。どなたが座ることになるかはわかりませんが、「ざまあみろ」です（笑）。アハハのハ。 source: 文藝春秋 2024 年 1 月号 西山和宏提供

○大石くん

参考までに送ります。

隈元



入来文書(いりきもんじょ)講演会の開催 一本メルマガの著者が事務局長を務める入来花水木会(入来院久子会長、会員 28 名)は、米国イエール大学の朝河貫一博士の論文である『The Documents of Iriki』いわゆる『入来文書(いりきもんじょ)』の翻訳者である

横浜市立大学名誉教授・矢吹晋先生を講師にお招きして『入来文書講演会』を開催しました。

2023 年 11 月 19 日(日)、薩摩川内市入来文化ホールに、200 名近くの方々にお越し頂

き、盛況に実施することができました。講演会の後、ホテルグリーンヒルで23名の方にご出席頂き、懇親会を開催しました。下記は、その講演要旨です。

〔講演要旨〕

日本人として初めてアメリカを代表する名門大学イェール大学の正教授となった歴史学者・朝河貫一博士（1873～1948年）は、日本に留学していた1919年、入来で500年以上保存されていた入来院諸家の古文書を発見。それを基に1929年に、論文『The Documents of Iriki』を発行。これを『入来文書』という。入来文書は、入来院諸家の古文書を史料に選び出し、ヨーロッパと日本の封建制度の違いを述べつつ、西洋の研究者が容易に利用できるように英訳し、説明を加え、制度的話題のいくつかを要約して述べたものである。

朝河博士は、史料の多様性、文書から跡づけできる制度的発展の代表性、文書がカバーする時間的長さから、入来院諸家の古文書を、まれにみる条件を有する注目すべき史料だと評価した。

そして、『The Documents of Iriki』に収めた史料は、領域と人間は、南九州の小さな部分に限られているが、この史料の実体は、日本の封建社会全体を範囲としている日本全体の封建制発展の典型であるとした。

朝河博士は、日本の農業は何十年と連作が可能な水耕栽培であり、ヨーロッパの農業は2～3年ごとに農地利用のローテーションが必要になる乾地農業であるという、決定的な違いに注目し、日本には農奴はいなかったという史観に至った。

日本の小作人たちは自らの意志で巧みに水田を耕し、水の管理などを行った。この自主性、主体性は、ヨーロッパの農奴と大きく異なり、日本の小作農は農奴であるどころか、その水田の経営者そのものであったとした。

しかし、戦後に流行した史観は、ヨーロッパに農奴がいたのだから、もっと遅れていた日本にもいたはずだ、ましてや入来は九州の南の果のへき地だから、その迫田や谷田には当然農奴がいたはずだと思い込み、朝河の史観を黙殺した。

※ 詳しくは、入来花水木会の公式ホームページをご覧ください。

→ <https://www.iri-ki-hanamizukikai.jp/report/report20231119.htm>



○聴きに行けなかったけど矢吹先生とは最近ご無沙汰ですが知り合いです。1939年生です。

入来文書にも興味があるのでこのメール(資料)ありがとうございます。整理して見たいと思います。大石

○僭越ながら随分とレベルの高い講演会があったのですね



私が朝河寛一の名を知ったのは、「維新の肖像;安部龍太郎著」でした。

会津出身では薩長閥が牛耳る政府では立身出世は望めないと米国に渡った。

澤田瞳子(作家)が、「維新の肖像」の巻末に解説を書いている。その中に、「朝河は、日露戦争に勝利した後の日本国家のありように警鐘を鳴らす書『日本の禍機』を著し、日露戦争以後に『変われなかった』日本が進んで行くであろう道を正確に予測していた。」とある。

○動画「2023『留学生と行く1日バスツアー』(宮崎西海岸をめぐる)」への新着コメント

<https://youtu.be/qttWVBkWHEg?si=rggleInKaUwE6HkL>



八期のみなさん！こんにちは！

12月も半分が過ぎようとしています。

例年ならそろそろ年賀状の作成に、と思う頃ですが、数年前からネット(LINE やメッセージなどの SNS)に偏ってきましたので、いよいよ

紙の年賀はがきはピッチャーからキャッチャーに変えようと思います。

ぼくの大きなボランティア活動である「中国人留学生との交流支援」のひとつバスツアーも終えてホッとしているところです。

八期のみなさんも、1年の締めくりに精出しておられることでしょう。

ところで、どんな1ねんだったでしょうか？人生最後の兎年を終わろうとしています。

「かねてとかわらんじゃったど！」でしょうか。

変わらないのがいちばんかも知れません。

この齢になると「いい風が変わることは稀有と思わなければなりません」

……この後、ぼくは、『八期オンライン日記第79号』に取り掛からなければなりません、まったく手つかずの状態です。

17日は会合がキャンセルになりましたが、あと24日までびっしり忘年会(ほかに遠征イベントが2つ入ります)あります。

何んと言っても断れない性格は困ります。

本日はとりあえず、お暇な時に上のYouTube動画をご覧ください。

大石ケイジ



2023 『留学生と行く1日バスツアー(宮崎西海岸をめぐる)』



2004年に始まったこの『留学生と行く1日バスツアー』早いもので今年、19年目を迎えました。近隣の2年はコロナ禍のため中止せざるを得ませんでした、これまで17回も九州のあちらこちらを周遊してきました。

県内は勿論、遠くは大分「高千穂峡」宮崎「西都原古墳」「綾町」「小林市」熊本「天草」「阿蘇」
等等、

だいたい45名程の参加者でバス1台が標準ですが、高千穂峡（2009年）の時は75名の参加、翌年の『西都原から綾町の吊り橋』巡りではバス2台に135名という大所帯のバスツアーでした。

1回目は赤塚学園の中国人学生10名程に協会スタッフ4名、学生部の鹿大日本人学生4名計18名で霧島の『大浪の池登山』がこのバスツアーの始まりでした。学園のマイクロに8人あとは協会スタッフのマイカーに分乗して行きました。登山の途中から空模様が悪くなり登りついた頂上から、あの美しい湖はまったく見えませんでした。けれど、その時の光景は今でも鮮明に思い出します。

何年経っても旅の思い出はなぜかよく思い出します。きっと、その時が楽しい時間だからでしょう。

今年もこのコース（宮崎日南海岸をたどる旅）は2008年以来15年振りの2回目の旅になります。

15年後は書いている本人はいませんが、参加した多くの学生たちは今のぼくの気持ちと同じような思いでこの日のことを思い出していることと思います。

大石ケイジ 20231210



○いい旅でしたね。私も日南方面にはもう10年くらい行っていませんが、鹿児島以上に南国らしい風景がいつも歓迎してくれますね。中国の留学生たちも異国情緒を十分に満喫されたのではないのでしょうか。
隈元

1216 木場大石さん



中国留学生と行く宮崎西海岸1日ツアービデオ 見せてもらいました。

まず、最初に この企画を 長年 献身的に 続けておられることに敬意を表します。

今回は 天気もよく 宮崎西海岸 バス旅行 素晴らしいものでした。神話の場所、素晴らしい景観
私も 行ってみたいなあ・・・と感じた次第です。

ご苦労様でした。 木場 祥雄

大石アンサー



木場さんこんにちは

宮崎には北の方（高千穂峡）から邪馬台国？（西都原古墳群）や中世戦国島津の（佐土原、都城、飢肥の各城）

など、見どころいっぱいあります。列車、バス、もしくはレンタカーを使って4名くらいで2泊すればゆっくり回れます。来年あたりいかがですか？

春から夏は今一度西山お江戸巡りと東北西海岸廻りをしたいので夏から秋でしょうか。 大石

木場アンサー大石さん



8月に お腹の大動脈瘤のステンドグラフト挿入手術は完了。経過状況も問題なし。

左足の動脈瘤の手術が 12月の予定でしたが 担当医の先生の都合で 来年1月に持ち越し担当医も 上司

部長、教授が 担当することになり、12月21日（木）に検査診察・・・手術準備この方は 天理よろず病院から 関西医科大総合医療センターを血管外科 下肢動脈瘤 バイパス 専門の方です。

そこで 来年 今一度 西山さん案内 お江戸めぐりと東北西海岸巡り 企画の話 年を取ると あまり先の話は 決められません。夏から秋にかけては 完全に 回復していることと思われまますので、参加可能？と思われまます。確定ではありませんが・・・以上 よろしく 木場 祥雄

大石アンサー木場さん



目標を持つこと何より今のわれわれ世代にとって何よりのクスリではないでしょうか。

ぜひぜひ、来年実現するよう頑張りましょう。

八期 LINE「太田昌平ドジャース入団発表！」思い出すあのスタジアムに行った！！

森



大谷のドジャース移籍で23年前に八期で行ったロスを思い出しました。

左サンタモニカ

右ドジャースタジアムと森くん



西山

すごい写真ですね。それに皆さんお元気です。アメリカ人はロスではなく、一般的に LA と言っています。

隈元



あれから23年、懐かしい写真。亡くなった人もあれば、しぶとく生きる人あり。しばし、時間の流れを思う。

大石



森(歴史検証博士)くんぼくも思い出してます。丘を登ってやっと着いたところにドジャースタジアムの入り口ありましたっけ？ 閑散としていた記憶の中に売店やっていました。ぼくはあのLDロゴの付いた野球帽買いました。帰ってからも随分と愛用して被っていました。外野の上から入り口がありましたね。はるか眼下に小さく見える

ダイヤモンド今でも目を瞑るとあの時の場面が広がります。シゲルくん、ありがとう 🥲 大石

森



当時はドジャースで野茂投手が活躍していたからコースに入れたのでしょうか。この日は雨でしかもシーズンオフなので誰も居なかった。

永野和枝



遅くなりました ハ期西海岸の思い出 浜崎会長が私の帽子ドジャーススタジアム の入り口で落とした帽子拾ってくださったこと、思い出しました♪(この帽子永野さんがかぶっていたよねー) 浜崎さんが拾ってくださった、こと覚えています。あのときすごくかんしゃしました♪優しい浜崎会長今もあの帽子有ります(帽子)

西山

真ん中、サングラス、帽子、アメリカ旅行を皆さん楽しまれている様子がよくわかります。皆さん疲れた顔していません。はつらつとしています。

西山



1995年、ウィンドウズ 95 が発売された年です。インターネットもこの年から始まりました。確かそうだと覚えています。もう一つ全米を騒がせたのは、野茂英雄のトルネード双方です。も、1909年2月ロサンゼルスドジャースとマイナー契約を交わしました。契約金いくらだったと思います。



西山



1995年野茂英雄はドジャースドジャースとマイナー契約をしました。契約金いくらだったと思います。980万円でした。その前年野茂英雄の年俸は1億4000万円でした。

その年の夏、アメリカを訪れた時トルネード双方についてよく質問されました。またこの年はウィンドウズ95が発売された年でもありました。

インターネット元年です。野茂英雄は村上雅則以来約30年ぶりの日本人メジャーリーグの選手でした。

前年は、ストライキなどでメジャーリーグも冴えない状況の時、野茂英雄の活躍は大変な話題でありました。野茂英雄は、日本人メジャーリーガーで最初にホームランを打った人でもあります。

和枝



どうりで。隣の洋車君の帽子の色が途中で変わったのは気のせいと思っていたら、そうか、あそこで買い替えたんだー。

八期東京歴史 LINE

○1203 本田報告



入院して、1週間がたちました。毎日、多くの検査を受けてきました。始めて受ける機械も、あって、血流を調べる足を締め付ける痛い検査なも、ありました。レントゲンでは、また、左胸部が真っ白で、水が溜まっている事で、29、30日、連日、合計で1.9リットル抜きました。10月の始めての時は、外来診療で、手術室でしたが、今回は2回とも病室でした。

左胸部の脇腹部に、畳針ほどの針をさしての吸引ですから、最初に、局部麻酔の注射をしてから、本針を刺すのですが、2日目は、残らず抜くのだという事で、肋骨の間に5センチほど入れた針先で、麻酔が届かぬ所もあり、悲鳴をあげました。先生が2本目の麻酔を打ってくれて、なんとか、2日目も、900ミリの水を抜く事ができました。痛みに弱いオノコです。

さらに、薬を飲んで、心臓を活発にさせて、冠動脈の中の動き、つまり、心筋梗塞の進行度を、安静時の場合と、比較しながらの、大きな御釜のような機械に入っただけの検査などでした。この1週間、検査漬けでしたが、この月曜日には、心臓のカテテル検査を行うことで、先生から、直接、家内にも、電話連絡があったようです。いちおう、手術だということで。おそらく、この検査、手術が最後でしょうが、先生から、息切れと心肺付近に水が溜まる原因は、どうやら、変質性肺炎からの、膠原病ではないか？との見解になる可能性が強いと感じています。

来週、ここは、退院して、おそらく膠原病の専門の先生での、入院となりそうです。県庁近くの今村病院でしょう。八十路も84才を目前にして、病院暮らしも、やるせない気持ちになっています。病院のまずい腎臓食にあきながら、体重もさらに減少してきています。あと、わずかの人生でしょうが、厄介な膠原病との戦いが待っているとほ？、残念です。もう、やりたい事は！ やつたし、そろそろ、多くの友人達がまつている所に赴くべきか？、味気ない闘病生活を続けるべきか？悩んでいる自分です。

○隈元



本田さん 最後の文面は、本田さんらしくありませんよ！ 先生の言われることを聞いてがんばりましょうよ。まだまだやり残したことは沢山おありでしょう。

隈元

今日は、妻の一周忌を西本願寺で行って、その後城山で会食をし、先ほど帰ってかきました。

西山

隈元さん、暮れを思い出す寂しさもひときわでしょうがしっかり生きてください。

隈元



ありがとうございます。丁度三年手帳が買い換えの時期ですが、がんばって今度まで三年手帳を買おうと思っています。これからもよろしくお願いします。

本田



隈元さん！早いんですね？奥様が、急死されてから、貴兄はご家族が御一緒だし、娘さんも、近くにお住まいで、心強く、きもちてきにも、落ち着いておられますね！どうぞ、すこやかに！

祥雄



隈元さん、他人ごととはいえ、月日の経つのは、はやいんですね！ご家族が近くに居られることはなにかと心強いんですね！お元気にお過ごし下さい。木場

隈元



皆さん ありがとうございます。もうこの歳になると、全てを子供達に任せています。楽なような、寂しいような複雑な気持ちになることもありますが、これはこれでいいものです。

本田



大石さん、ありがとう！ 明日の心臓のカアテテル検査の結果によつて、膠原病の疑いが、濃厚になれば、今村病院行きになるかもしれません。膠原病となれば、長期戦になりそうで、これ以上の病院生活に耐えられるか？ はなはだ疑問に思っています。自分としては、もう自宅で、ゆつくり、のんびり暮らすことも、良いかな？と考えています。

大石

膠原病は仰るように自宅でゆつくり療す方が多い気がします。耐えられない痛さが襲わない限り、出来るだけ病気は自分で温存して、病院（患者）にならない方がいいのでは？(病院)…と思いますが。当人ではないので、生意気なこと言えませんが(言ってる意味が分からない。)(花)

安倍 画像あり



昨日、近くの平林寺に、娘と行って来ました。風もなく、暖かくて、最高でした、

祥雄



安倍さん、娘さんとよろしいですね！余生を楽しんでください！
木場



1205 川口



8期生の皆様のご活躍、力を頂いてます。12月に、入り、高校の授業(高校)、師走休み、ホッと一息です。年末片付け、勤しみます！ありがとうございます(ありがとうございます)。お世話様でした。



またもや！病状の報告で、スママセン。

今日、12月4日心臓カテーテル検索によって、心臓の新たな大きな欠陥が見つかりました。心臓から出る3本の冠動脈の根元の分岐点の所に狭窄がある事が判明しました。前に判明している箇所狭窄は、あまり悪化していないとの事です。先生も検査のはじめにすべきであったと言われましたが、早速ステントを挿入する手術をすることになりました。明日は、透視日なので、これを優先して、心臓は、明後日の6日に施行する事になりました。その場所が、冠動脈の一番重要な3本に分かれる所であり、午後のエコー検査で、該当の場所に血栓、血の固まりあることがわかり、早く施行することで、さきほど、血栓を溶かす薬を飲まされされました。先生も、困難な条件が重なっているので、慎重に行うと、言ってくれています。自分としては、この息切れと胸の痛み、水が溜まるなどの症状の原因が、心臓の最も大事なところにあつたとは、びっくりです。なんとか、医師を信頼して、自分も頑張って手術に備えたいと思っています。

12月6日、カテーテル治療を！くけました。手術室にて、3時間近く、数か所のシヨウサクするなどの狭窄部分やの血管をふさいでいるコレステロールなど～掻き取りながらの、ステント装着でした。

小生の場合、コレステロールが、既に石化しており、それを砕きながらの作業であり、前回の検査の時は、冠動脈に入っても痛みは感じなかったのですが！今回は治療という事で、血流を細くしている化石を砕き、それらを引き出し、さら(に)、その部分が、弱くなっているため、ステントで被せる作業、治療であり、痛みが凄く、局所麻酔だけに、数か所、施術したため、自分としては、その時、もう止めてくれと何度も叫びました。

先生は、冷静に、本田さん、痛みをこらえて頑張って！と痛みを堪えて頑張って！と言いつげながら、施術は止めませんでした。

自分は、こんな痛い思いを、続けるよりは！死んだほうが良いと心礎思いました。身体全身が緊張しての手術台での余りにも長く感じた施術時間に感じました次第です。手術部屋からでて、東京から急にかえってきた、息子と家内と共に、説明室で、先生から一部始終部を聞かされました。

まず、患者から！途中で、何度も止めてくれと言われた事も始めだったし、自分としては、困難な施術であるが、本田さんものことを思いながら、医師として、続行した。

冠動脈のややこしい所などがあって、慎重に時間をかけての施術であったが怖い心筋梗塞からは安全視出来るでしょうとの診断でした、！ 息子が先生に！御礼を言いつつ！盛んに謝っていました。

今後も、ステントは、破れて、更新することが必要な事あり得るとのそのまま良いのではとのことだが、自分としてはそのまま良いかな？と思っています。術後の経過が良ければ、今週中か来週には退院ができそうです。長々と書きまして、すみません。



森

痛みをこらえて頑張った本田さんも偉いですが、こんな難しい手術をする医者先生も凄いですね。また手術後こんな長文を入力できる本田さんに脱帽します。

隈元



本田さん凄い！よくがんばられましたね。後は、先生やご家族の言われる事をよく聞いて療養なさってください。一日も早い回復を祈念しています。

大石

いやぁ本当に、手術室での本田さんと執刀されているお医者さんの様子が手に取るような手記に驚いています。本田さんはよく頑張っていますネ きっと又、長田町の森ハウスで生報告を聞く日が近いと確信しました。もうひと頑張りしてください。(頑張る)

永野和枝



本田さん 痛みをこらえながら 大変な手術でしたねー 想像がつきません 本当に、本当に頑張りました🤯(頑張る)(しまった) 術後、吹上の自宅で 広いお屋敷で愛宕山を眺めながらお過ごし下さい(下さい)

本田



皆さん、ありがとうございます！ 暇ついでに、病室の、出来事をすこしはかり。カテーテル治療の前日、透析日でしたが、午後の指定時刻でしたので、午前中、シャワーをた。立ったままではダメなよで、る？浴室用の椅子を持ち込んでもらい、ゆっくり、のんびり、シャワアしました。さいごに髭剃りまで行い、ジャワア室から出ようとした時、立ち上がった時々、身体がフラフラして、ついにひきとの所で転んでしまいました。

ちょうど座っていた椅子共々！床にころんだことで、大きな音ごしたとみえて、看護師が、なにごとか？と3名ほど駆けつけしてくれました。

こちとは、床にたおれて、起き上がれない状況です。まだバスタオルも使っていないフライギンのありさまで、若い看護師のお姉さん達の目の前に、老人のしぼんだオチンチンを曝すことに、なりました。若い女性の看護師さんたちが肩や手足を引っ張りながら、やつとたちあがれました。

まさか、3にんのお嬢さんたちに、シナビたオチンチンをひろうするとは？！ 病院食事ですが、ここ2ねんほど、食欲げさつぱりです。

出てくる病院食は、自分が腎臓食と決まっていんため、塩分6グラムの味気のない毎食であり、いままで完食は皆無です。この病院には、山形屋が近くにあるので、専らその食材を買ってきてもらつて、それらを食べています。幸いに、病室には、ふたつの冷蔵庫がありますので、飲み物と食品を分けて、いりております。

朝食も、まずいコッペパンなので、食パンや菓子パンなどをたべています。もう、あと何食の立場の人間なので、食べたいモノだけを口にいれています。ただ、栄養不足にならないように、チイズ、野菜ジュース、角煮なども、ソレゾレ食べています。昨日は、始めてですが、一昨日の手術で、大量の出血ごあったそうで、透析ちゆつに、同時に、輸血もおこないました。他人の血を輸血するには、躊躇もありましたが、先生の指示でした。

今回のすべての経過を診ているところですが、今のところ、身体に異常がない時は、月曜日あたりに、退院となるでしょう。これから退院まで、安静を保ちながら持ち込んだ年賀状の筆かきなどにも、精出しましょう。

大石



本田さん！ダイアリー📖 楽しく(Surprised)目に浮かべ👁️ながら読ませてもらいました。椅子共々にすつてんころりは怖いです。下はタイルでなくてよかったです。ご披露どころの騒ぎじゃないところです。食事風景も目に浮かびます。(食事) 森すき焼き忘年会に間に合えばいいですけど(いいね)

隈元



本田さん 映倫ならぬ病倫？ に引っかけらず何よりでした。看護師さん達が喜んだことでしょう。しかし、これ程のユーモアのあるラインで私もホッとしました。もう少しのようですからがんばってください。

黎明館に大石、南郷両君と新名一仁氏の講演を聴きに行つての帰りに雨で滑つて転んで足首を骨折してから昨日でちょうど2ヶ月経ちました。3日目に上町いまきいれ病院の整形外科でレントゲン撮影してもらつてから1回も病院に行かず、自分で湿布を張り替えるだけで痛みも無くなり完治したものだと思われまふ。全治2ヶ月の重傷でした。



大石



今年最大の災いでした(ね)ほくも明日、留学生55人引率宮崎日南海岸バスツアーに行きます。転ばないよ
ういいカッコして飛び超えたり走ったりしないような杖ついで行動します(走る)

南郷



やはりこの歳になると話題は怪我か病氣の話になり若い頃の元気な姿を思いながらリハビリや健康管理に
気を使いながら毎日暇を持て余す日常生活を送っています。本田さんも焦らずゆっくりと元気に養生してくだ
さい。

森くんはもともと体が頑丈に出来ているみたいで羨ましいです(ね) 両親に感謝しなくては生けませんね 僕等最近はず
まずか無いように下ばかり見て歩いているので腰がますます前かがみになつてきました。酸素ボンベが年々重くなつて
きました。

1212 本田



お陰様で月曜日に退院できる事になりました。イロイロ、書いて、失礼しました。なんとこか、森邸のスキヤキパ
アティに参加できそうです。もひとつ、嬉しいニュースです。こつに、21世紀枠で、鶴丸高が候補に選ばれたと
のニュースです。玉龍では、我々の高校時代、五代投手を中心に、甲子園で活躍したことも皆さん、よく覚えて
おられる事ですね?! 今回のセンバツで、選ばれれば、戦後 初めての出場になります。希有なことで、喜んでいま
す 自分もかつて、高一の頃、野球部にいました。それだけに、なお、嬉しいです。甲子園での校歌を聞きたいもの
です。

森



本田さんがすき焼きパーティに参加するお気持ちになられたのはうれしいのですが、心臓の術後1週間余りでの
車を運転しての長距離移動は控えられた方がいいのではと思つてしまいました。奥様も心配されるのではないかと
思われますので今回は自宅で療養に努められた方がいいのではないのでしょうか? 老婆心ながらしばらくは自重
していただきたくお願い致します。年が明けてから改めて本田さんのご快癒をお祝いする会を致しましょう。

本田



森さん! 優しいご忠告、ありがとう! おっしゃるように、心臓の手術をやつたばかりであり、ちよつとほ、安静
にするべきですね? 17日の御宅でのスキヤキ忘年会? は、遠慮すべきですね! 皆さんにお会いしたいです
が、ここは自重します。大石さんはじめ、皆さんにおわひ

1215 本田



またまた、病状の報告で、ゴメンナサイ! 先だって、18日間の心臓の冠動脈のコレストロールなどが化石化した、
血流をジャマしているヤツを約4時間半かかつての手術などを、行ない、日に退院しまさた ヒドイ息切れは、
続いています事で、肺への酸素の取り入れが悪いとの事も、自宅の中、外出先でも、常時酸素ボンベでの鼻から
の酸素吸入を命じられています。ヒドイ息切れと心臓や肺の付近に水が溜まる事は、膠原病の虞があるとの診断で、
今回の入院の前に一度、膠原病の専門医を紹介されて、検査を受けたことがありますご、そこに、今月20日に入院せよ
と指示が出ています。年末を控えて、また入院とは?、先生の立場での診断なので、それだけ病状が、進行している

事なのでしょう。ここは主治医の指示に従って、また、入院です。年か越せるか？年賀状が出せるか？これまでの入院中に、遺言書もかきました。急転直下、エライ事になりました。

森



いろいろと大変でしょうが医者の方の言い分けを守って養生に務めて下さい。私も昨日喉が痛いので行きつけのクリニックに予約して車で行ったら院内に入れてくれず防護服を着た医者の方に鼻粘膜を取られ検査の結果インフルエンザ A 型とのことで車中でタミフル 5 日分を処方して貰って帰ってきました。薬のおかげか今日は咳もせず熱も 36.6 度(昨日は 36.9 度)で落ち着いています。

永野和枝



本田さん、一難去ってまた一難何、大変ですね♪ 医師の言われる通り病魔と頑張りましょう 頑張れ

本田哲郎と同じ、私も幾つもの病気を抱えて 病魔とタタカツテいます

大石



12月も半分が過ぎようとしています。例年ならそろそろ年賀状の作成に、と思う頃ですが、数年前からネット(LINE やメッセージなどの SNS)に偏ってきましたので、いよいよ 紙の年賀はがきはピッチャーからキャッチャーに変えようと思います。ぼくの大きなボランティア活動である「中国人留学生との交流支援」のひとつバスツアーも終えてホッとしているところです。

八期のみなさんも、1年の締めくりに精出しておられることでしょうか。ところで、どんな1ねんだったでしょうか？人生最後の兎年を終わろうとしています。「かねてとかわらんじゃったど！」でしょうか。変わらないのがいちばんかも知れません。この齢になると「いい風が変わることは稀有と思わなければなりません」……

この後、ぼくは、『八期オンライン日記第79号』に取り掛からなければなりませんが、まったく手つかずの状態です。17日は会合がキャンセルになりましたが、あと24日までびっしり忘年会(ほかに遠征イベントが2つ入ります)あります。何んと言っても断れない性格は困ります。本日はとりあえず、お暇な時に上のユーチューブ動画をご覧ください。

大石ケイジ

本田コメント 1218



11日に18日間の入院、心臓のカテーテルでの冠動脈の化石の取り出しと、ステントの装着、それに、心臓と肺の周辺に水が溜まっており、2回ほど水抜き、左胸部下から針を刺しての作業などを18日間の入院で、行ないました。まだ、息切れと肺への酸素の取り組みが、不足で、いまは、退院後、いつも、酸素吸入をしている現状です。

20日からは、膠原病の虞が、あるとの、事で、専門医がいる今村病院へ、再度入院と、指示されています。年末を控えて、またもや入院とは、自分でも、残念ですが、医師の指示なので、今は、忙しく、年賀状書きをやっています。気付いた事ですが、2023年の喪中のハガキを見ているのですが、40通たらずのハガキなのに、ことしは、ナント、6枚のハガキが、親しい友人、知人本人のほんにんの逝去の知らせでした。

今までは、本人こらの父母、兄弟姉妹などの訃報が多かったのに、こんなに、本人の逝去が多いとは、ビツクリです。いよいよ、自分も、その歳になったのかな？と思いつつ、年賀状を書いてします。



しのぼずの池にやってきました。蓮池はすっかり枯れてますけれども、渡り鳥が渡ってきてるようです。今日は秋空、高くといえますけれども、ほんとはよく晴れた気持ちの良い天気です。

あの緑いっぱいだった不忍池の蓮もすっかり冬景色になってしまいましたね。鳩に似た群れを作って飛ぶ鳥は「ゆりかもめ」でしょうか？

森さん、さすがですね！ゆりかもめネットで見たら在原業平が、都鳥名にしおわばいざこととは、我が思う人はありやしやと歌に詠んだ鳥です。本当にきれいな鳥です。私はこの鳥を初めて見ました。

12月の夙期 LINE

森 1216

八期の皆さんもそろそろ運転免許返上の年齢になってきましたが、免許取り立ての頃初めて運転した車が何だったか覚えて



えていますか？昭和30年代日本も経済成長まっしぐらの時代でしたが、自家用車を持つことはまだまだ夢の時代でした。私の場合初めて運転した四輪車は、マツダ B360 クーペでした。まだ自分では買えず兄の買った車を借りて練習していました。麿城自動車学校にこれを運転して通ったことなど今思えばのんびりしたご時世だったなあと「あとぜっ」がしています。皆さんの思い出の初購入カーの思い出などありましたらお聞かせ下さい。

森 因みに自分で初めて購入した車は三菱ミニカの中古車でしたがその後8台乗り換えて今はスズキスイフトに乗っています。



西山大学に入りしばらくしてから自動車教習所に行きました。散々うさぎ飛びでした。仮免をとって路上に出るから、法規のもう試験を受けると言われて、それまで法規の授業



等出たことがなかったのでびっくりしました。

免許を取るのを諦めました。就職して営業のライトバンに専属の運転手がついていました。

運転手付きの車で営業に回っていました。

運転手の給料は私よりも高かった。25歳位の時に免許取りました。

徐々に運転手はいなくなりました。新しい部分の営業スーパーマーケットまわりです。

スーパーを回って営業できる人間がいないため、都内及び東北全域を担当しました。

東北に出かけると1週間で大体2000キロ走ります。

高速道路は無い時代です。

冬場日本海側から太平洋側への山越、雪が積もった山道を走るのは大変でした。

タイヤチェーンの付け外しを行うときには、腕力バーと軍手でオーバーに言えば5分か10分で済ませました。

1日でガソリンを2回満タンにすることもありました。

1回の満タンで70リットル入れました。

30歳近くになった時、こんなに車で飛ばしていたら事故で死ぬんじゃないかと思いました。

仙台営業所に担当者を置くことができるようになったこともあって、車で飛び回る事は極力止めるようにしました。

事故は1回も起こしたことはありません。

最近の車が性能が良いのか、街中でもびゅんびゅん飛ばしているのを見ると怖いなと思って見えています。

ハンドルでかわすな、スピードでかわせをかわせ、つまりスピード落とせを守っていました。

現在は電動アシスト自転車で重宝しています。

しかし、女性が電動アシスト自転車のスピードを上げて脇をすり抜けるのには恐怖感を感じることもあります。でも接触事故起こした事はありません。ぶつけられるのは新宿だからと思っています。

大石コメント



ぼくの最初のクルマは通称ケンメリと言われたスカイラインの中古車でした。

龍作くんが与次郎で中古車センターをした頃、免許を取ったので「何でも任すから龍作がいいと思うのを待って来て」と頼んで届きました。

確かプレートに沖の一字が付いていました。

彼はクルマは褒めずに「ヨシちゃん！こん字が、カツコえやい！」の言葉がまだ耳に残っています。

深いグリーンのワンドアだったと思います。写真は見つかりません。

欠点はパワーハンドルでなかったのが曲がる時は必死でした。

スカ G～マークII～BMW と乗り換え今、アクアに乗っています。

森

最初から大きな車に乗ったね(!)その頃沖縄は外国だったから沖縄ナンバーは珍しかったのかもね？

龍作君に聞いてみたいです!

本田



プリンスは、確か、スカイラインの会社でしたね!? スカイラインの頑丈な外装ゴツイのと、スマートなスタイルには、惚れ込んで、長く長く使っていました。最初は、大学卒業後、メイクアの営業部でたので、誰かさん三田井に、最初は、運転手付の殿様営業でしたが、その後は、免許証を取って、当時のサニー、日産、をあてがわれて、ひとりで、走り回っていました。自家用車としては、最初は、スカイラインの中古で、その後は、トヨタ車に乗り換えて、マアクツウを長く愛用していました。

西山



プリンス GT-R はレースでも大活躍していました。しかし、プリンスは経営が立ち行かなくなり、日産に合併され、日産スカイラインになってしまいました。そのエンジンは、中島飛行機の生き残りの人たちが開発したと聞いています。プリンスという名前から交代子が愛用していたと思います。



下池

わが中古セドリックは高齢ガタが来て捨てたが、さすが日産、エンジンだけは現役ピンピン、ガンガン、保険証の臓器提供、快諾よ。インチキ腐臭トヨタには乗らん。イカサマ臭パナも買わん。



技術の日産、品質のトヨタと言っていましたね。私は最初に新車で買ったのが日産サニーで営業マンとの縁が切れず4台続けてサニーでしたがいつの間にか会社が無くなっていました。森アンサー



南郷 画像あり

車の免許を返してから(3)年たち今更返してくれとも言えず後悔してます。車の免許とつて最初に買ったスバル 360 当時カブトムシと言っていました。現在車の愛好家の間でも人気モデルだそう高くで売買されているみたいです。その後は仕事をする車を龍作ドンから良い中古車見つけてもらい何台かお世話になりました。車で思い出すのが兄貴が定年退職してそれまで乗っていたドイツ車のアウデ



イを乗らないかと言ってきたので(車)まだ5万キロぐらいしか走ってなかつたけど僕は仕事車に乗っていたのでいらないと
言って断ったら、廃車する事にしようと言ってきたので浜崎会長にこの話をしたら自分がもらうということで福岡まで僕と
二人で貰いに乗って帰ってきました。

隈元



私は30過ぎでの免許取得でしたが、会社のコロナバンを営業にも通勤にも私用に使っていました。

北九州時代会社に駐車場が無くて、それで済んだ良き時代でした。

徳山に行って初めて自家用車を買いました。森くんと同じ日産サニーでした。

家内の里の北九州にいつも遊びに行っていました。親子5人乗ると、高速の坂道はエンジンが高くなってスピードが、
落ちて大変でした。車の運転は、大好きで、いつもドライブ旅行をしていましたが、80歳で打ち止めになりました。ちょっ
早かったかな。

森



車がないと行動範囲が狭くなつくどなあ

下池



車いまがあつてん狭ぶなつたど。パトカーいもねんず止
められつ。こげなこつが續くなら免許返納命令ち。世間
迷惑かね？

森



初めて車を買った頃はまだカードローンなど無くて、銀行
で支払手形を作って貰って毎月支払いに銀行に行っていましたね。



南郷



今娘の車に遠慮しながら載せて貰っているので行きたい所にいけないのが悔しい思いです、いつも大石先生の
車をタクシー代わりに使いながら過ごしているので持つべきは友だと感謝しています(感謝)

下池



狙っている3年後に発売の新車はオール自動で、車庫入れも自動、高速も自動、念のためハンドルはついてい
るが、手放して熱いラーメンかうどんをこぼさないようにすすり、テレビを見るか昼寝してる間に目的地に無事着く
らしい。自分は運転しないのに、免許は要るのでしょうか？

ORE: 遅寝・遅起、早寝・早起

貴兄の生活習慣はまさに作家など文筆業のようですね。小生は逆に早寝、早起き型。これは若いとき出張先で飲



んだ後作業したが、翌朝全く何が書いてあるか分からないという失敗に懲りて、以降変更したもの。

まだ行きたい処が何か所あるとのこと、健康に十分注意されたし。

小生も行きたい処は種々あるが、まずは虫食い状態の東海道を繋ぎ合わせ、中山道、甲州街道と合わせ、

日本の3大街道の踏破を実現したいと考えています。お互い命ある限りがんばりましょう。

佐倉市 古市

○12月21日吉永英未さんより

大石さん お世話になっております。私はイギリス  カンタベリーで元気に過ごしております。クリスマス



はロンドンに住む中国人の友人の家で過ごす予定です。父がビデオと写真をお送りさせて頂いたよう
で、楽しんでいただけたら嬉しいです。大石さんに近況報告ができて光栄です。えみより

https://youtu.be/RMSyxJU6Uqw?si=kgRSU_A46kC1RA_6



以下、吉永英未さんからのムービーです。

https://youtu.be/RMSyxJU6Uqw?si=kgRSU_A46kC1RA_6

大石さん お世話になっております。私はイギリス🇬🇧カンタベリーで元気に過ごしております。

クリスマスはロンドンに住む中国人の友人の家で過ごす予定です。

公開される際は、Youtube ビデオ以外のものを公開いただけるようお願いいたします



👤 (学生に許可をとっていないため)私と学生との写真においては、特に問題ないのではと思っています。全然公開なしでも結構です。大石さんに近況報告ができて光栄です。えみより

お元気でなによりです。英国に行って2年いやコロナ前でしたっけ？だとしたら4年てことはないですね。

まだまだ頑張ってください。YouTube 動画がないとちょっと寂しいかもしれません。又次の機会にアップします。写真はお父様何枚かもらいました。楽しいクリスマス

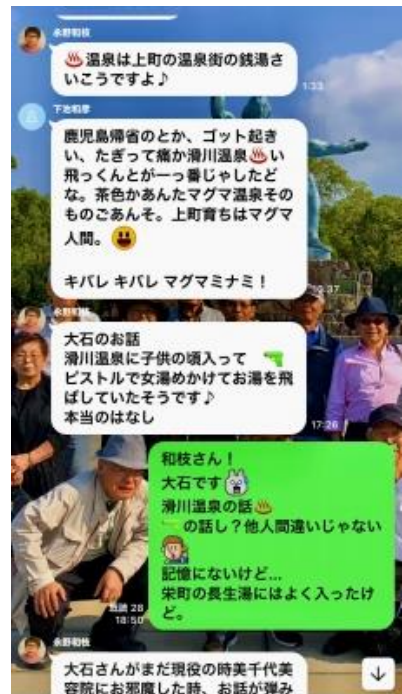


👤をお過ごしください。若い留学生たちからのメッセージも読ませていただきましたよ。

大石さんありがとうございます😊 またぜひ次の機会にアップ頂けますことを楽しみにしています。他の人を入れてしまうとプライバシーがあるので、次は私はフォーカスでお送りすることが出来たらと思います。



学生からのメッセージも有り難いです。大石さんも素敵な年末年始クリスマス🎄をお過ごしください。



中村隆重『哲学の庭』出版記念パーティ YouTube 動画

動画リンク

<https://youtu.be/Lwkp3GrN8yA>

農福連合のパイオニア・中村隆重『哲学の庭』出版記念パーティ 202312

著者中村隆重の挨拶



皆さん！年末の何かとお忙しい折において頂きありがとうございます。

自分の文章でお前しか経験しなかったことを書け！と友人から勧められたこと。友人・恩人に「終活に入っている今の状況を」知らせたいと思い、現職を離れた、ウソ偽りのない自分の姿を『哲学の庭』で晒してみました。

増版に際し、池川教授（鹿児島大学・彫刻家）のお力で英訳付きの素晴らしい本に仕上がりました。皆様のお力で思いもしない展開にただただ感謝するばかりです。

本坊松一郎（さつまも産業振興会理事長）のご提案で本日の出版記念パーティの運びになりました。

こうなったら、みなさまのお力添えを頂き東京図書出版での上位出版を達成したいと思います。

そして・・・その想いが達成したら、

花の木農場に、郷里の出身で花の木にもゆかりの深い『八島太郎記念館』をつくることに余生を捧げることを夢見ています。

YouTube 動画 農福連携のパイオニア・中村隆重『哲学の庭』出版記念パーティ 202312 をプレビュー



大石くん



あの日の盛會を思い出しながら、ゆっくり動画を見ました。

ほんとによか晩でしたね。

中村さんの人脈の凄さに改めて驚いた夜でもありました。

皆さんのお話の聞きづらかったところも、動画では、はっきり聞き取ることが出来ました。

大石くんがあれほど全部録画しているとは思っていませんでしたが、今になると全部録画が生きてきましたね。

大石くんが短時間にこの動画を仕上げたというのに、私は未だに約束したブログにも書かず仕舞いです。

改めて馬力をつけて近日中にブログにアップしたいと思います。

隈元達雄

○日23日の八島太郎遺作展の動画制作に取り掛かりました。



翌日は中締めであまりしまらないパーティでしたので帰って来ました。・・・ら、

今日、山田美穂子さん(動画の依頼主)から電話でお礼の後、最後は盛り上がったね！と言われたので、

「エッ！最後何かあったのですか？と尋ねると、「なに！！いなかったのね！全員で踊るハンヤ踊りがいちばん盛り上がったのに、シマツタ！・・・と言われました。今年、最後の犬失敗でした。

家内を連れて行き、本人は温泉に入って待っている筈が、温泉入浴はなく、フロントで寒いのに待っていたので途中で退出してしまいました。 て、動画作成もあまり気が入らないけどね。

○尺のビデオを観ました



隈元さんが仰るように多くの人々に認められる素晴らしい仕事をなさったことがよく分かりました



大石さんの記録、崎元さんのサポート、隈元さんのバックアップ、素晴らしい連携です
この連携はまだまだ続きそうですね。

本当によい物を見せていただきました。

元気をもらいました。

私も頑張ります。

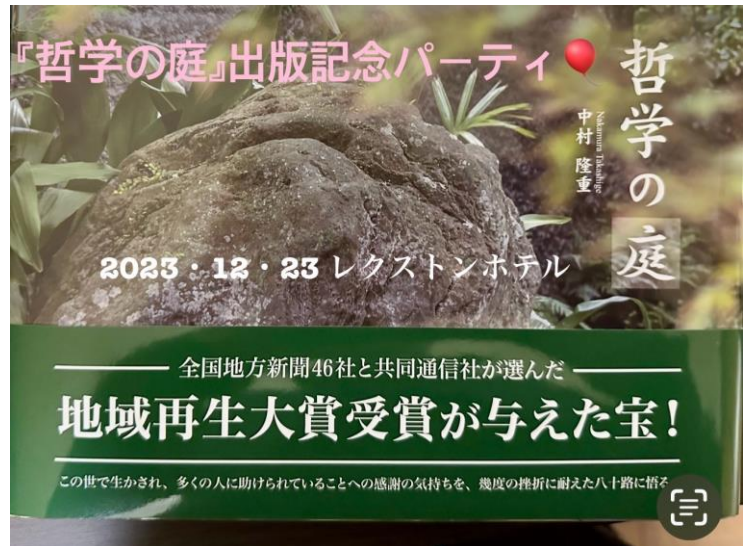
ありがとうございました。

○大石さんは年末になって引っ張りだこで、忙しい中にも東北の旅なども含めて今年は充実した年になりましたね。



八島太郎遺作展の依頼主は中村さんではなく、あのダンスの師匠の山田さんだったのですね。

しかし、中村さんと山田さんの直接のつながりはなくても？ お二人は不思議な縁で結ばれていますね。



それを取り持つような形で二夜連続でそれぞれの会に出席し動画を撮影した大石くんも含めて驚くつながりだと思います。
人の縁というのは、ほんとに不思議なものです。

大石くんは八島動画編集の後、八期通信の編集もあるでしょうが、もう一踏ん張りお願いします。



ありがとう😊

楽しみながらがんばっています。

何でも「構想を練る」楽しみ...ぼくの先祖からのDNAかも知れません。

何の苦痛もありません。

ただアマチュアの枠を出ると苦痛が伴うかもしれません。



大石さん

中村 隆重さん「地域再生大賞」受賞及び「哲学の庭」出版 記念パーティー YouTube 動画 見ました。

LINE でも 送られてきておりましたので、早速 アマゾン通販で「哲学の庭」購入し、昨日 26日到着し、読みました。

まず、YouTube 動画 すこし 長すぎる感じですが、最後まで見ました。大石さんが 言われるように 適当に カットし 編集しようと されておられたようですが 中村さんからの 要望で 長いものになってしまったとの 背景も よくわかりました。

(お互いに 年を取ると 耳が 聞きにくくなります。私も 重要な話には 集音器をつけておりますが、大勢の会議などの 時には 補聴器が必要となるようです。

今のところ、もう私は このような機会はありません・・・)

LINE で見た時に 東京 崎元さんが 写っていましたので 書籍「哲学の庭」を読んで、46ページ 尊い「支え」は あなたの

事ではないか？と電話し、確認した次第です。

崎元さんは 以前から 中村隆重さんに いろいろと協力されておられることは、聞いていましたので、電話しました。



戻ります、「哲学の庭」写真も素晴らしいですね、印象に残りました。本文の方は 一代で 苦勞され、知的障がい者を働き場を創生し、「花の木農場」素晴らしいものに 作り上げた 中村隆重さんの 八十余年の人生、回顧録みたいなもので、人生を振り返りたくさんの方々の協力、援助を受けながら、ここまで、過ごされた来たことが書かれ、おまけに 英訳されたものまで編集されていることに びっくりしました。

一気に 読みました。

中村 隆重さんは我々 玉龍八期会の誇りでもあります。 崎元さんには、八期会の至宝でもありますと記載し、メールしました。

最期に、中村さんは 長女の長男 孫が 防衛大学校の学生であることも誇りとされておられるようです。

メール情報 有難うございました。

木場 祥雄



大石さん 長尺の撮影、相当腕が疲れたことと思います
よい記録が残されました。

中村さんに、本 10 冊が届いたことを知らせたら、電話があり
その中で、大石さんや崎元さんが、本当によくしてくれ、感謝していると言っていました。

西山 和宏

編集者コメント・・・以下のコメントは前とダブル文章があるかも知れません。

22 日中村隆重出版記念パーティーの YouTube 動画完成しました。 結構長い作品(今までで最長)完成しました。現在アップロード中です。 隆重さんの御自宅のテレビが Wi-Fi が繋がっていたら、大型テレビで YouTube が観れます。 大石ケイジの文字を、を検索入力すると観れます。 お伝えください。 大石ケイジ

<https://youtu.be/Lwkp3GrN8yA?si=qyJfwByrS5PEmZCO>



「哲学の」出版記念パーティー、まずは記録撮影監督、大石さんに敬意を表します。

ずいぶんと腕も疲れたことと思います。崎元さんの常に変わらぬバックアップ敬服します。隈元さん静かに見守っておいでのようですね。中村さん、本当に大したそうです。マイペースの頑張りには脱帽です。これからも止まることを知らず、前進なさることでしょう。勇気と元気をいただき、私も頑張りたいと思います。ありがとうございました。

中村隆重さんの 風貌が「翁」と呼ぶに 相応しい 雰囲気があります。動画の記録を 頼まれた 記念写真の中の (o)氏は、まだまだ お若いです。😊 立派な業績を残されている 中村隆重さんのような人物に、議員として成功した 地元の 森山ひろし議員は、光を当ててあげれば良いのに、と 思ってしまう。せめて、『哲学の庭』の著書を買って、至るところで 宣伝に努めてくれたら良いのに。。破格の議員報酬を得ながら、更に裏金で 懐を豊かにする やから達(!) 見習う 気も無いのか(!)と、自民党議員達に 怒り心頭。(怒る) おやおや、また えらく 話しが飛んでしまいました(>_<) 海江田会長さんは 息災でしょうか？ 今年もあと僅かで 2024年。頑張ろう🔥

こんにちは。動画作成ありがとうございます。

参与宅はインターネットの環境が無いので、何か観てもらおう方法を考えます。和田(花の木ファーム) 大石さん 中村 隆重さん「地域再生大賞」受賞 記念パーティー LINE 送られてきましたので 東京 崎元さんとも 連絡とり、中村 隆重さんに 受賞祝いのメール 送信しました。

大石さんもなにかあればたいへんな お世話され、たいへんご苦労様です。

そこで 中村さんに 大石さんから LINE で 連絡きました、



早速「哲学の庭」本 通販で購入し、本日到着、読書後崎元さんと連絡とり、中村さんにメールした次第です。

木場 祥雄



中村隆重さん 八期会 LINE で 大石さんから「地域再生大賞」受賞記念パーティーの映像が送られてきました。まず、今までの中村さんの並々ならぬ業績「花の木農場」創設知的しょうがい者の雇用など素晴らしいことだと常々感服しております。

早速、アマゾン通販「哲学の道」手配し、本日、到着 すぐに読んで 崎元さんと、メールし、話した次第です。今回、中村さんの 人生八十余年の人生 回顧録 人生を振り返り たくさんの方々の援助を受けながら ここまで並々ならぬ苦労を重ねながら「花の木農場」を 大きくされたこと、また、携わって来られた方々に対する感謝の気持ち・・・など記述されておられます。

このことも 普通の人には 出来ないような ことと思いました。東京の崎元雄厚さんも写っておられましたので、連絡し、話しました。本の中46ページに 尊い「支え」は 崎元さんの事ですね・・・と確認しました。すごい、心遣いですね・・・と話しました。

また、長女の息子さん(お孫さん)が 防衛大学校に通っておられるとのことこれ又、素晴らしいことです。(以前 崎元さんから 入学された由、聞いておりました。) 今回の「地域再生大賞」受賞本当におめでとうございます。鹿児島八期会の大石さんの LINE での案内 これ又、素晴らしいもので、鹿児島八期会 LINE 仲間活発です。今年も僅かなに一週間 足らずとなりましたが御体ご自愛のほどお過ごしください。


木場 祥雄



崎元さん！大石です。先ほどは電話ありがとうございます。😊

このメールの中にブルーの英語をタッチする。

『隆重出版パーティ横文字』がありますそこをタッチすると YouTube 動画が観れます。

お知り合いにもこのメールごと上の右  にある3つの点をタッチすると転送の文字があるのでそこをタッチすると送れます。

ちなみにぼくのメールアドレスは以下

To: 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>

22日中村隆重出版記念パーティのYouTube動画完成しました。結構長い作品(今までで最長)完成しました。現在アップロード中です。隆重さんの御自宅のテレビがWi-Fiが繋がっていたら、大型テレビでYouTubeが観れます。大石ケイジの文字を、を検索入力すると観れます。お伝えください。 大石ケイジ



大石さん

中村隆重さんの挨拶文 頂きました。

これからは 八島 太郎記念館 を 作ることに専念されるということですね？

まあ、なにか 課題を持たねば... ということですね。

なにか 目標をもって 余剰を過ごす...という事 見習いたいと 思います。

ありがとう。木場 祥雄

八期 LINE の皆さんに「今年はどんな1ねんだったでしょうか？」と訊いてみました。 編集より

一気に冬到来です(ね) ぼくの入っているグループLINE (10コほど) のメンバー皆読は今年一年振り返って何か一言。『今年いちばんの出来ごと』を短く書いてください。全員(ね)(ね)大石

斯波アンサー



もう暮れを迎えてしまいました。2度目のひとりだけのクリスマスを迎えます。子供、孫たちが寂しいだろうと気を使ってくれけどー、それが寂しさを増すのは私の我儘？亡き主人のお陰で歳相応の身体の衰えを感じつつもハッピーなシングルライフ過ごしてることに感謝、感謝です。皆様お健やかに新年をお迎えください。斯波紘子

森アンサー



「6月の8年ぶりの東京旅行」

木場アンサー



大石さん、わたしの今年の出来事は大動脈瘤の腹部手術でした。まだ下肢もあります。一年明け暮れた感じでした。木場

永野アンサー



こんなこと、書いた古い絵手紙が出てきました。反省してみるとなかなか、女一人で育てていくの難しいです 又その後のことかきますね 和枝

川口アンサー



今年の年末、2学期の授業終了。私生活では、長男の病院入院中で、終わりそうです(´～;)。来年の幸せを祈りつつ。川口。

隈元アンサー



私は妻の供養に明け暮れた一年でした。毎月の月命日に近い日曜日に西本願寺別院に参拝してお経をあげてもらって、その後、家族全員でいつもランチを食べながら談笑したことでだいぶ救われた気がします。東京や柳川の旅などにも助けられました。来年も元気であちこち旅をしたいですね。

南郷アンサー



僕の1年は毎日同じパターンで夕方近くをウォーキングして外に出る機会が少ないので？あっという間1年間でした。退屈をまぎらす為近くの図書館にたまに行くぐらいで今年計画していた東京旅行もドクターストップで行く事が出来ずに残念でしたが来年は必ず実現したと思っています(参る)

【編集後記】

『オンライン日記』の編集担当の為、こうして、生意気にも、八期みなさんにメッセージを発信出来て幸せだと思っています。今年の始めに人生最後の干支を迎えました。

そして、今年1年は思い出の沢山残る年にしようと願いました。

中年過ぎてから「念ずれば叶う自分のたのしみ」を自分の人生訓にしてきました。

その願いは運よく、親友たちのタイミングの良いきっかけで簡単に実現してしまいました。

ぼくの旅の考え方は、予習（準備）2（実行）5（回憶）3を実行することにしています。

ぼくに近い仲間では隈元さんが似ています。来年の5月ごろ、今年行けなかった奥羽本線の羽つまり出羽地方に挑戦したいと思っています。新潟・佐渡・鶴巻・酒田などです。

体力の戻った隈元氏も同行したいような様子なので実現出来たら楽しみです。

かって2週間ほど、八期仲間の永留氏とふたりで中国の東南部を旅した景色を思い出します。

・・・健康な体で新年を迎えることがあと何年出来るのか？ほんとうにわからない齢を迎えています。

脳の認知度の方は自分で予知（用心）出来ませんが、体調だけは「無理しない」を心掛けたい。

小さな旅と好きな本を次々と読破していきたい・・・

そんなタツノオトシゴの1年であれば…と願っています。

みなさんの「願いは？」何でしょう??

大石ケイジ



